

平成 25 年度第 1 回知床世界自然遺産地域連絡会議

議事概要

平成 25 年 8 月 22 日 13:30 ～ 15:30

斜里町産業会館 大ホール

議案

1. 平成 25 年度知床世界自然遺産地域連絡会議役員について
2. 科学委員会の検討経過について
3. 適正利用・エコツアーリズム検討会議の検討経過について
4. 平成 24 年度知床世界自然遺産地域年次報告書（案）について
5. 知床ヒグマえさやり禁止キャンペーンについて
6. 知床国立公園指定 50 周年・知床世界自然遺産登録 10 周年記念事業について
7. その他

●開会挨拶（釧路自然環境事務所長）

釧路自然環境事務所の西山でございます。本日は夏の利用シーズンの大変お忙しいなか、平成25年度第1回知床世界自然遺産地域連絡会議にお集まりいただきありがとうございます。お集まりの皆様方には日頃より世界自然遺産の保全管理につきまして御理解、御協力、そして御尽力いただきありがとうございます。

本日は、先日開催されました科学委員会、それから適正利用・エコツーリズム検討会議での検討経過について御報告させていただき、他、年次報告書、いわゆる知床白書の案についてもご覧いただきたいと思っております。

今シーズンはヒグマのエサやり禁止キャンペーンも本格的に開始しておりますし、またシャトルバスの夏の利用が大変好調というふうにも聞いております。自然の状況も人間の状況も毎年少しずつ変わります。自然や利用者と最前線で向き合っておられる地元の方々の情報や御意見を聴きながら世界自然遺産である知床の保全と管理をより良いものにしていきたいと考えております。

3時間ほどの会議を予定しております。本日も忌憚のない御意見をどうぞよろしく願います。

●馬場斜里町長御挨拶

皆さん、こんにちは。この会議の開催地地元斜里町として、一言だけ御挨拶を申し上げたいと思います。昨年度、今年の3月に引き続いて斜里の地でこの会議を開催できますことを御礼申し上げたいと思います。また、遠方からご出席いただいた関係機関の方に対して心から御礼申し上げます。

さて、私どもの知床が世界の宝として平成17年に世界自然遺産に登録され、先月7月17日に満8年の誕生日を迎えました。そういった世界自然遺産の自然でありますけれども、毎度このような会議で話題に欠くことがない、必ずいつもなにかあるという状況でございます。そういった意味で気候変動が微小ではなくてまさに常態化しているのではないかなと、そんな気がいたしております。今年の3月には全道的に暴風雪でたくさんの被害ができました。そして4月には斜里近辺だけ暴風雨ということで大きな被害を受けました。なぜ斜里だけ、と思ったものですが、今回一昨日にはオホーツクのほうで豪雨がありました。近くの湧別では大した被害はなく、私たちの斜里町でも大きな被害はなくて済んだということで、まさに局所的にこういった異常気象が起きている状況でございます。

嘆いていても自然の一部である人間ですから、逃げたくても逃げることができません。なんとか折り合いをつける、そして共に生きる道を探って行動にうつしていかなければならない、そんな風に思っているところです。

この地域連絡会議は、知床世界自然遺産の適正な管理のあり方の検討、そして効果的な保全管理、普及啓発等を推進するためにあるわけですが、前回半年ほど前の会議では平成23年度の知床白書について様々な議論があったのはみなさま鮮明に御記憶かと思いますが、今回も平成24年度の知床白書というよりは年次報告書の案が示されるという風に聞いております。様々な議題が用意されておりますけれども、ご出席のみなさまの活発な意見交換のもとにこの会が知床世界自然遺産のために実りのあるものとなるよう期待して、御挨拶にかえさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

議題 1. 平成 25 年度知床世界自然遺産地域連絡会議役員について

■資料 1：平成 25 年度 知床世界自然遺産地域連絡会議 役員について

…環境省より説明。

質問・意見なし

議題 2. 科学委員会の検討経過について

■資料 2-1：科学委員会及び各ワーキンググループ等の検討経過について

…環境省より説明

- ✓ 平成 25 年度の科学委員会各 WG/AP 等の開催状況は以下の通り。
- ✓ 科学委員会は7月 30 日に平成 25 年度第1回会議を開催した。
- ✓ エゾシカ・陸上生態系 WG は 6 月 24 日に平成 25 年度第 1 回会議を開催した。
- ✓ 海域 WG は 6 月 22 日に平成 25 年度第 1 回会議を開催した。
- ✓ 河川工作物 AP は平成 25 年度第 1 回会議を 9 月に開催予定である。
- ✓ 適正利用・エコツーリズム WG は 7 月 29 日に平成 25 年度第 1 回会議を開催した。

質問・意見なし

■資料 2-2：エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの経過報告・今後の予定

別添 1：H24 シカ年度(平成 24 年 6 月～平成 25 年 5 月)捕獲結果

別添 2：エゾシカ個体数調整実施地区における植生への影響評価

別添 3：H25 シカ年度管理事業位置図

別添 4：植生指標についての整理案（回復過程の評価）

…環境省より説明

- ✓ H24 シカ年度のエゾシカ個体数調整(捕獲)結果は、遺産地域内(環境省)528 頭・隣接地区(林野庁・斜里町・羅臼町)499 頭、合計で 1,027 頭となっている。
- ✓ 知床岬地区では、捕獲後の個体群密度が推定 3.4 頭/km²となり、当面の目標値(5 頭/km²)を達成した。
- ✓ 知床岬地区では、ササ丈やイネ科草本の現存量増加が確認された。

- ✓ ルサ-相泊地区のうち、ルサ地区では草本の採食圧の低下が確認された。
- ✓ H25 シカ年度は、新たにウトロ地区で囲いわな捕獲を検討する(林野庁)。
- ✓ 森林植生に関する広域採食圧調査は知床岬、ルシャ、幌別-岩尾別、およびルサ、相泊で、高山・亜高山植生に関する広域採食圧調査は知床岳と羅臼湖で、それぞれ実施予定。
- ✓ エゾシカ個体数航空調査は、個体数調整の実施地区に加え、ルシャ地区でも実施予定。
- ✓ 植生指標は、知床岬を今年度中に作成し、他地域における指標検討の参考としていく。
- ✓ ルシャ地区において、5~7 月に多数のシカが確認された(データ提供は山中委員)。今後、モニタリングとともに、個体数調整のデザインを検討、次回 WG で提案予定。

知床エコツーリズム推進協議会：今冬の駆除の予定は9月の第2回エゾシカ・陸上生態系WG以降決まるということか？

環境省：別添3ご参照。知床岬地区についてはこれまでと同様に継続予定。幌別-岩尾別地区についてはこれまでと同様流し猟式シャープシューティングを実施する他、草地で大型囲い柵により捕獲する予定で、現在柵の整備を進めているところ。ルサ-相泊地区については昨年と同様に実施予定。他に、北海道森林管理局がウトロ地区において昨年に引き続き囲いわなにより捕獲予定とのこと。斜里町及び羅臼町も例年と同様に実施するとのことである。

知床エコツーリズム推進協議会：イメージとしては、概ね例年と同様で他に大型囲いわなを使用するという事か？あるいは大型囲いわなをメインに据えてシャープシューティング等で調整するという事か？

環境省：幌別-岩尾別地区については大型囲い柵を中心にし、シャープシューティングは補助的に実施する予定。囲いわなはまた別の場所で行う。それ以外の地区については環境省事業は昨年と同様である。

■資料 2-3：海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

別添 1：第 2 期 多利用型統合的の海域管理計画 モニタリング項目

別添 2：【総合】第 2 期海域管理計画モニタリング評価シート(案)

・・・北海道より説明

- ✓ 第 2 期知床世界自然遺産地域多利用型統合的の海域管理計画に基づき、実施するモニタリング項目をとりまとめた。
- ✓ モニタリング項目には、新たに社会経済(「資源・環境」「食料供給」「産業・経済」「地域社会」

「文化振興」の5分野のデータ分析と評価)を導入した。

- ✓ 今後は、第1期多利用型統合的・海域管理計画の評価において作成した「評価シート」を用いながら、短期長期の両面から評価を実施していく。
- ✓ トドについては、羅臼・標津において混獲が発生しており、知床の海洋生態系ひいては自然環境に与える影響等について別途情報収集を開始したところである。
- ✓ 今後、評価シートによるモニタリング項目の評価と、それに基づく報告書の作成を進め、年明けの今年度第2回海域WGにおいて報告予定。

質問・意見なし

■資料2-4：河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

別添：知床世界自然遺産地域内で改良した河川工作物の評価

…北海道森林管理局より説明

- ✓ 平成24年12月に、予定されていた5河川13基すべての改良が完了。AP委員からなるワーキングチームが総括的な取りまとめを実施した。別添資料をご参照。
- ✓ 赤い川・ピリカベツ川などにおいてサケ科魚類の遡上状況等を調査していくほか、8河川においてオショロコマ等の生息状況調査を実施中。また、6月末にデータロガーを設置した36河川において、水温の計測を開始している。
- ✓ 現地検討会を10月28, 29日に開催予定。第2回河川工作物APは年明けの予定。
- ✓ グレー(改良すればサケ科魚類の生息環境等の改善が図られる可能性があるものの、改良に伴う防災機能等への全体的影響が大きいことから現状維持)と評価されている河川工作物の今後の扱いについて、検討を開始する。
- ✓ 6月上旬にIUCN-SSG(サケ科魚類専門家グループ)がルシャ川を視察した。

知床エコツーリズム推進協議会：今日の会議は漁業者の方はご欠席のようだが、河川工作物APに漁業者は構成員として入っているのか？

北海道森林管理局：正式な構成員として入っているわけではないが、必要に応じて個別に声かけし現地に来ていただく他、会議にご出席いただいている。

知床エコツーリズム推進協議会：前回の会議の際に、調査のリストの中にサクラマス(サケ科魚類)の調査が入っていないのはなぜなのかという質問をした。今回は「サケ科魚類」というくくりで記載されているが、やはりサクラマスは対象になっていないということか？

北海道森林管理局：すでにダム改良を行った場所において、魚がどの程度遡上しているか、産卵しているかの調査と北海道森林管理局と北海道庁で行っている。遡上カウントについてはサクラマスも対象となっているが、産卵床についての調査は行っていない。淡水魚についての調査でオショロコマを対象としているが、その理由は知床においてオショロコマが最も海岸に近い箇所で生息しており、温暖化といった気候変動が生じると真っ先に影響を受けるのがオショロコマではないかと考えられるからである。オショロコマの調査の過程でサクラマスやヤマメ等の他の魚類がいれば記録するようにしている。

ウトロ地域協議会：河川工作物の改良は一区切りついたとご報告があったが、それらの改良が完了した河川工作物について、地域連絡会議として現地検討会を行えないか？世界遺産委員会からの勧告を受けて対応した内容について一度見てみたいと考える。

北海道森林管理局：数年前に一度地域で一般の方を募集し、河川工作物の改良状況を見ていただくイベントを行ったことがあるが、あまり多くの方にはご参加いただけなかった。それから数年経過したこと、改良も一区切りついたことから、実現できるよう検討する。地域連絡会議に合わせて実施するのは困難かもしれないので、別の機会を設けたい。

議題 3. 適正利用・エコツーリズム検討会議の検討経過について

■資料 3-1：適正利用・エコツーリズム検討会議からの報告

■資料 3-2：知床ロングトレイル・プロジェクト

…環境省より説明

- ✓ 平成 24 年度に知床エコツーリズム戦略および事務取扱要領を最終決定し、平成 25 年 4 月から実施している。
- ✓ 平成 24 年度に試行的に提案を募集し議論した 3 件の提案については、1 件が継続検討、2 件が最終承認され実施の運びとなった。
- ✓ 平成 25 年度に入り、新たに 1 件の提案(知床ロングトレイル・プロジェクト)が提出され、7 月 29 日の第 1 回検討会議での審査を経て、部会の設置が承認された。
- ✓ 今後、検討会議は合意形成の場から地域との協働型管理の機会を提供する場へ移行する。これに伴い、検討会議のあり方の検討と検討会議の委員や構成団体の再検討を想定している。

ウトロ地域協議会：知床エコツーリズム戦略の試行結果の中にある②の知床五湖冬期利用

促進事業が継続検討となっているが、その理由は何か？ どういったことがネックとなっているのかご説明願いたい。昨年の知床世界自然遺産地域年次報告書の山中委員の記述が影響しているのか？

環境省：部会の設置は斜里町観光協会、斜里町が中心となって進めていただくことになっている。議論自体が進んでいないが、適正利用・エコツーリズム検討会議としては一年を目途に結論を出していただくことにしている。

ウトロ地域協議会：平成 23 年度の知床世界自然遺産地域年次報告書の評価の記述で、知床五湖の冬期利用について指摘されていたが、そのことが継続検討に影響しているのか？

環境省：否。

斜里町：知床五湖の冬期利用については様々な課題があり、議論が進捗しておらずすぐに結論を出すのが難しい状況。

議題 4. 平成 24 年度知床世界自然遺産地域年次報告書（案）について

■資料 4：平成 24 年度知床世界自然遺産地域年次報告書（案）

…環境省より説明。

- ✓ 過去 3 年をかけて構成を検討してきた。
- ✓ 第 1 章は「遺産地域の管理」で、概ね管理計画からの抜粋となっている。
- ✓ 第 2 章の「課題」については、4 つの項目について計 9 つの課題を挙げた。
- ✓ 第 3 章「管理の実行状況」は、管理機関と関係行政機関が昨年度に行った管理の事業の内容について記載している。
- ✓ 第 4 章の「生態系と生物多様性の現況と評価」は、分野ごとに委員各位に分担して執筆を依頼した。
- ✓ 第 5 章の「利用状況と評価」の「1. 観光レクリエーション利用」は、両町観光協会にも照会をした上でまとめた。「2. 漁業の状況」は桜井委員に執筆をお願いした。「3. 自然公園法に基づく許可行為」を現在記載しているが、森林法等の関係法令による許可行為を追記する。
- ✓ 第 6 章「総合評価」は、大泰司委員長に執筆していただいた。
- ✓ 付録部分に個別具体のデータを掲載した。

ウトロ地域協議会：事前に送付された資料を見ていて何点か文章表現が気になった箇所が

あった。p.13のマイカー規制の記述について、「平成11年の試行を経て」と記載されている。昨年度もこのような表現であったが、「平成11年からの試行を経て」なのか、「平成11年の一年間の試行を経て」なのかどちらなのか？

環境省：事前にお送りした資料から一部修正している。本日の資料に記載のとおり、試行は平成11年の一年のみであり、翌年の平成12年度からマイカー規制を行っている。

斜里町：平成11年の試行は、お盆期間ははずして行った。本来なら一番混雑するお盆の時期に行うものであるが、いきなり実施すると大きな混乱が生じる恐れがあると警察から御指摘があった。そこで敢えてお盆ははずしてお盆前に規制を行ったという意味で試行と呼び、本格的に実施したのは平成12年度からとしている。

ガイド協議会：この場で質問するのが適切かどうか分からないが、カムイワッカ湯の滝の訪問者数がp.70に載っている。ツアーでカムイワッカ湯の滝にはよく入るが、7月にかない混雑する連休がある。その前後も含めてマイカー規制をかけた方がいいのではないかと思う。どの程度渋滞しているのかというデータがあれば、それも考慮して検討いただければと思う。

環境省：自動車台数データはインターバルカメラやカウンター等でとっている。マイカー規制の期間についてはガイド協議会にも入っていただいてカムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会で議論している。

知床財団：御指摘のとおり、現在マイカー規制がされていない7月の連休は非常に渋滞する恐れがあり今年も非常に心配していた。曜日の関係で年によってかなり状況は異なり、結果的には今年はいしたことなく済んだ。環境省や林野庁、知床財団など現地機関の人員が現場に張りつき交通整理を行いなんとか乗り越えている状況なので、データを見ながら場合によっては7月の連休もマイカー規制の検討が必要なものと考えている。

ウトロ地域協議会：p.13の「ヒグマと地域住民等との軋轢」の文章のうち、「遺産地域の利用者・漁業者の活動圏及び～が重要は課題となっている。」について、文意は分かるが日本語として分かりにくいと思う。また、p.50のケイマフリの個体数等のデータが平成23年度になっているが、平成24年度の数字は出ていないのか？今年海鳥のキャンペーンも行われ、観光船関係者等地域の関心が高まっていると思う。

環境省：ヒグマについての文章は分かりやすく修正する。

環境省：海鳥については平成 24 年度データがあるので更新する。

ウトロ地域協議会： p.51 の連山登山道利用者数と縦走利用者の文章が分かりにくいので、それぞれが何を指した数字なのか、登山道に関する記述を整理してはどうか。

環境省：連山登山道利用者数については、羅臼岳登山者を含めた数字である。御指摘のとおり表現が分かりにくいと思うので修正させていただきたい。

議題 5. 知床ヒグマえさやり禁止キャンペーンについて

■資料 5：知床ヒグマえさやり禁止キャンペーンの実施状況について

…斜里町より説明。

環境省：野生動物へのえさやり自体は直接法に触れるものではないため、なにを根拠に禁止するのだと我々も怒られたりしている。趣旨をご理解いただいて協力していただくことが大事なので引き続きよろしくお願ひしたい。

議題 6. 知床国立公園指定 50 周年・知床世界自然遺産登録 10 周年記念事業について

■資料 6：知床国立公園指定 50 周年・知床世界自然遺産登録 10 周年記念事業について

…北海道より説明。

質問・意見なし

議題 7. その他

■SGEC

…北海道森林管理局より説明。

質問・意見なし

■資料 7：平成 25 年度 知床世界自然遺産地域連絡会議等の予定

…環境省より説明。

- ✓ 第 2 回科学委は平成 26 年 2 月頃、場所は札幌を予定している。
- ✓ 第 2 回海域 WG は平成 26 年 2 月頃を予定している。
- ✓ 第 2 回エゾシカ・陸上生態系 WG は 9～10 月に、また、第 2 回植生指標検討部会は 12～1 月に開催予定である。
- ✓ 河川工作物 AP は第 1 回を 9 月頃に、第 2 回を 1 月頃に開催予定である。
- ✓ 第 1 回地域連絡会議を 8 月 22 日に斜里町で開催する。第 2 回は科学委を終えた後、2～3 月に羅臼町で開催予定である。
- ✓ 第 1 回適正利用・エコツーリズム検討会議は 7 月 29 日に開催を終えたところ。第 2 回は 2 月頃を予定している。

質問・意見なし

以上